

## ・・・ 複雑化する情報化社会に対応する新しい試み ・・・

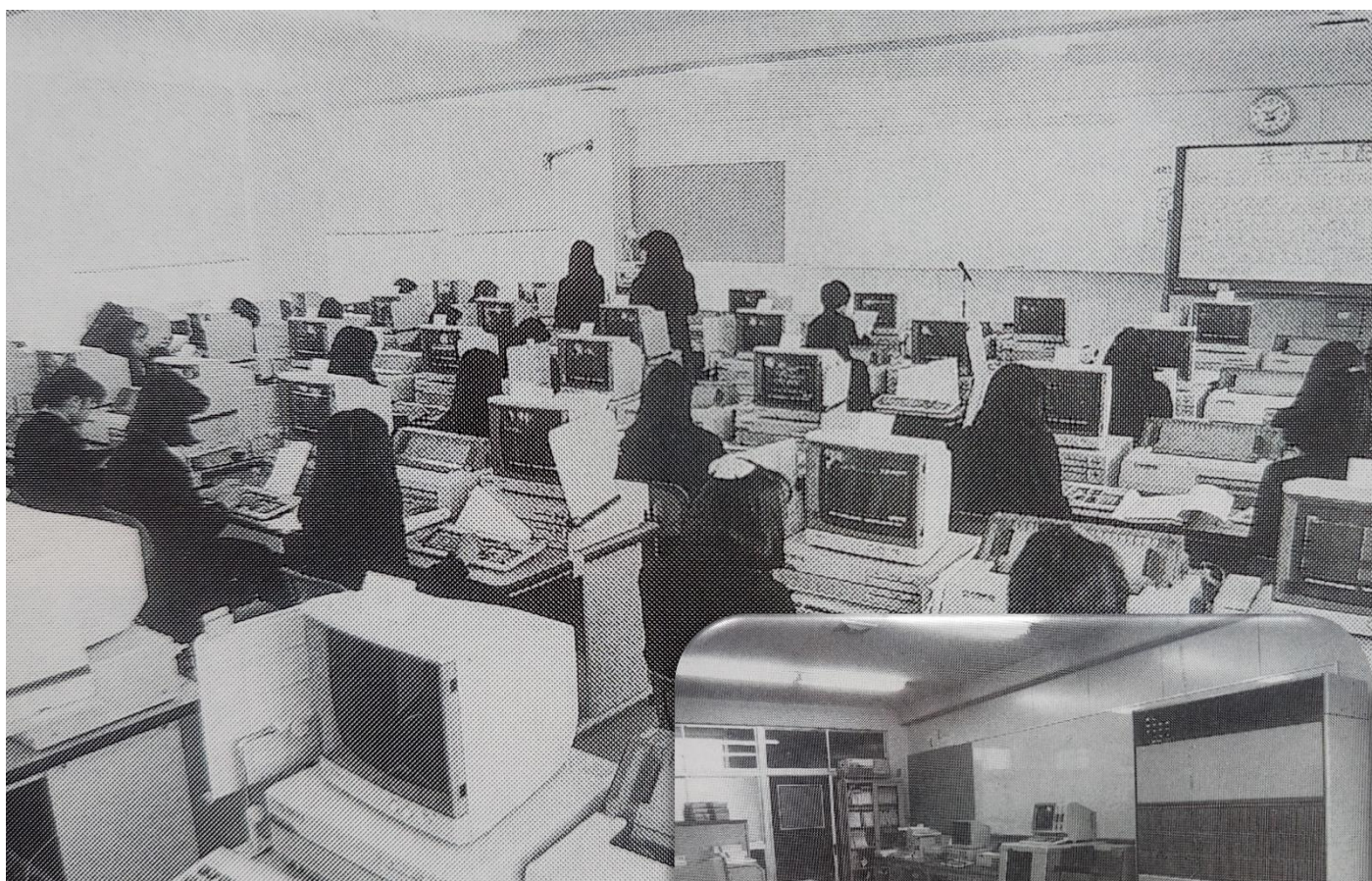
## ◆情報処理科の設置

昭和63年4月に商業科1学級が「情報処理科」に転科され、商業科が単年度1学級増でスタートした。小学科の設置については、設置の有無・設置学科等様々な議論を経て「情報処理科」に決定された。

本校の情報処理科のカリキュラムは、商業科の単位数の枠内で情報処理に関する科目、1年次4単位、2年次4単位、3年次6単位と低学年の単位数がやや不足していた。

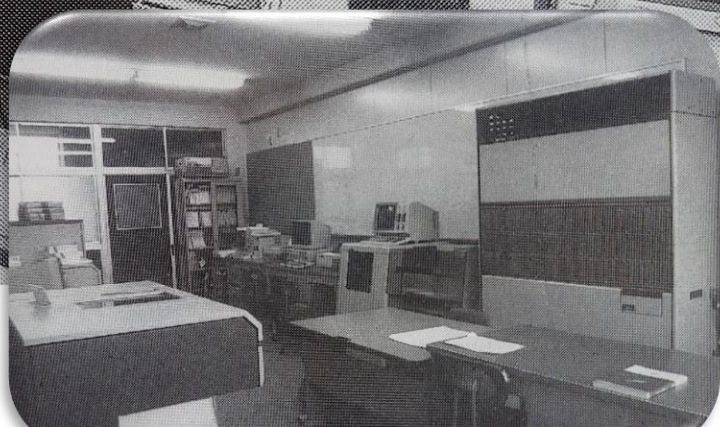
当初専用コンピュータの設置がなく、商業科の富士通16β24台を二人に1台使用させ実習に励んだ。さらに、実習効率を高めるために、COBOL(コボル)のソースプログラムやデータ等の入力用補助機としてシャープのポケットコンピュータを使用し、学習効率を上げた。

昭和63年11月にNECの汎用機ACOS430/70及び同社製パーソナルコンピュータPC9801等のシステムが導入され、コンピュータ教育が急速に高まり、全商情報処理検定一級・通産省情報処理技術者試験第2種等の合格者を輩出し、学校の活性化に役立った。



情報処理実習室

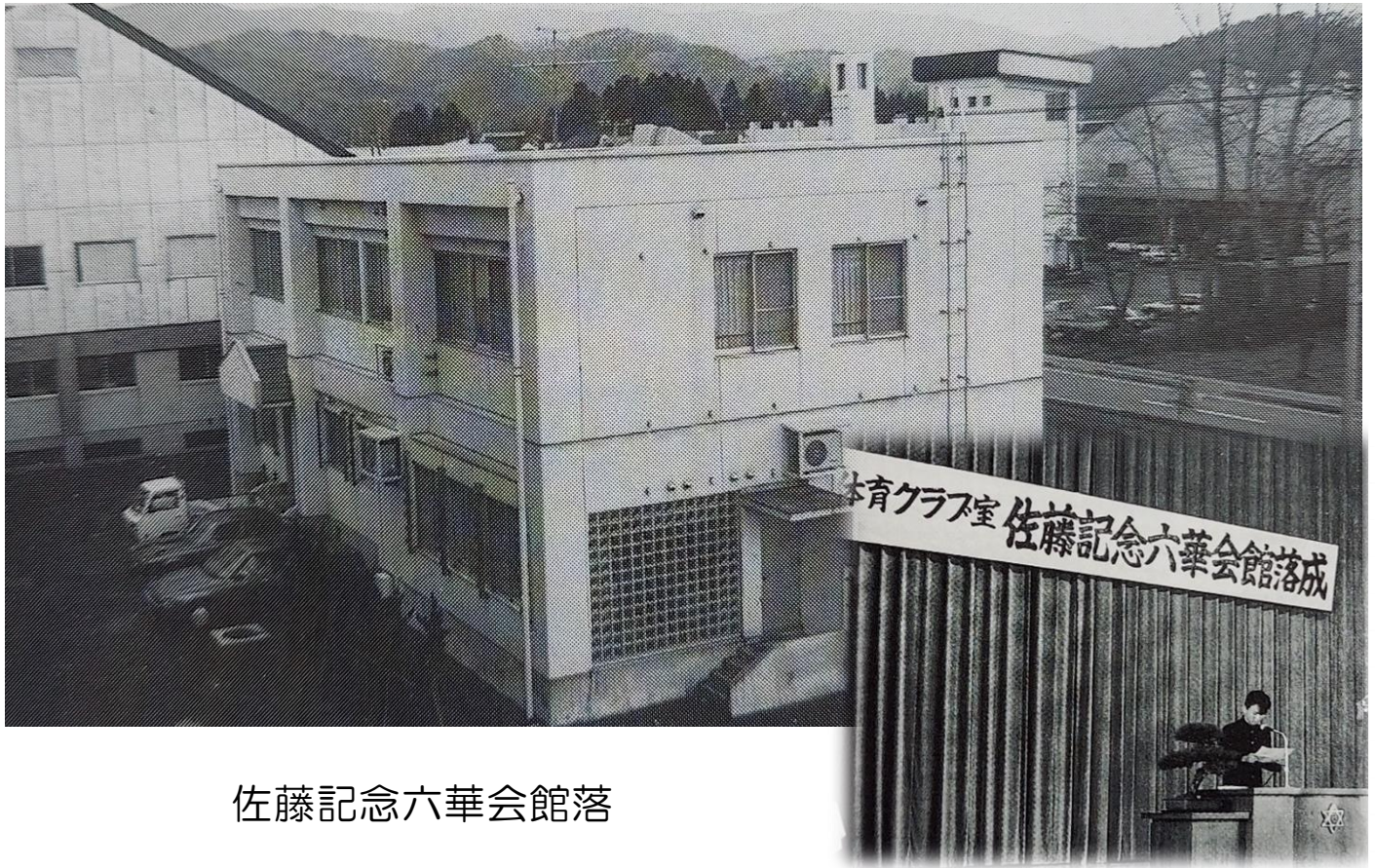
機械室 (NEC ACOS 430/70)





## ◆佐藤記念六華会館落成

平成元(1989)年4月26日、佐藤記念六華会館の落成記念式典が挙行された。



佐藤記念六華会館落



佐藤記念六華会館落成式／テープカット